



空き家利活用提案/実施しなかった
公約で市民参加を考える
橋本久雄議員
(一人会派の会)

何度でも空き家の利活用を提案する

質問 大田区では、コミュニティスペース、サロン、デイサービス、子ども食堂、保育・学童施設、作業所、集会所などに空き家を活用するため、希望者に紹介している。こうした取組を参考にできないか。

市長 空き家等の利活用は市場での流通による売買が基本だが、将来的に買い手がつかない等の場合に備え、参考にしていく。

市長が実施しなかった公約から市民参加を考える

質問 ①課題別の公募制市民委員



用水路の払下げにより財源の確保を
比留間洋一議員
(政和会)

用水路の払下げにより財源の確保を

質問 ①用水路の払下げは地権者の申出により市が執り行うのか。また、どのような場合に払下げを行うのか。

②用水路を払い下げるために、面積、価格などの判断基準はあるのか。

③用水路の払下げを進める考えはあるのか。

市長 ①小平市用水路活用計画の活用区分に基づき、利活用の見込みがないため売却と区分した用水路について、売却を行っては、隣接土地所有者からの申

員会が未実施の理由は、
②35人学級実現のための検討委員会が未実施の理由は、
③ワーク・ライフ・バランス実現のための市民懇談会が未実施の理由は、
④景観条例が未実施の理由は、

市長 ①文化振興を考える市民委員会を設置した。
教育長 ②国や東京都の動向を見極めていたため。

市長 ③市民懇談会の開催やワークショップなどを行った。
④セミナー等の開催や地区計画を定めた。

【掲載分以外の質問項目】
○全ての生活保護世帯や低所得者などへエアコンの設置助成を



市立小・中学校の更新・複合化の前に学校づくりの方針整備を
山浦まゆみ議員
(生活者ネットワーク)

市立小・中学校の更新・複合化の前に学校づくりの方針整備を

質問 ①小平第十一小学校の児童数は他校に比べて多く増加が見込まれるが、どのように他施設との複合化を図っていくのか。

②小平第十一小学校の更新等に当たり、これからの学校の在り方を検討している経緯は、
③少人数学級推進への考えは、
④魅力ある学びの場等の持続のため必要な学校施設の工夫は、
⑤小・中学校の更新等に当たって、これからの学校の在り方を検討し、市民等の意見を取り入れた基本計画を策定の上、施設づくりを検討すべきでは、

市長 ①児童数が800人程度まで増加しても、現在の校舎とあまり変わらない規模で対応できると想定している。配置等は児童数の増減等に対応できる効率的な手法等の採用を検討していく。
教育長 ②教育振興基本計画において長期的ビジョンの下、学校施設の整備を図るとしている。



多選問題と小山市長5期目の挑戦について伺う
福室英俊議員
(政和会)

多選問題と小山市長5期目の挑戦について伺う

質問 ①次の市長がすべき市の重点課題は何か。
②スポーツ振興・商業支援について、次の市長に期待していることは何か。

③来年度の予算を通年予算で出すべきという見解への市長の見解は、
市長 ①直面する課題として、新型コロナウイルス感染症への対応がある。また、人口減少、少子高齢化のさらなる進行への対応や、巨大地震等の災害や気候変動などへの対応、持続可能な行政運営の確保、デジタル

④今年9月12日までは他の場所へ移転する等を検討との説明だったが、15日に保護者宛てに民間移行の保護者説明会の開催通知、18日に子ども・子育て審議会で民間移行を急遽報告、25日に保護者説明会を開催という流れは決定経過が不明瞭では、
②公立花小金井保育園は存続し、廃園は見直すべきでは、
市長 ①公立保育園全体の縮減の方向性と民間移行の対象園はパブリックコメントや子ども・子育て審議会の検討等を経ており不明瞭との認識はない。
②引き続き民間移行は、公立保育園の運営のあり方に関する方針改定版に沿って進めていく。



市長が目指してきた市民参加と市民協働を問う
細谷 正議員
(日本共産党小平市議団)

小川駅西口地区再開等まちづくりは市民参加と協働が不可欠

質問 ①小川駅西口公共基本設計レイアウト(案)について市民から寄せられた声や意見は、
②小川駅西口地下自転車駐車場の説明会で市民から寄せられた声や意見は、

市長 ①図書館、市民活動支援センター、男女共同参画センター等の機能のこと等様々あった。
②工事期間中の自転車駐車場対策など、事業化を見据えた進め方等に関するものが多かった。

公立花小金井保育園は存続し廃園は見直すべき



ジュニアオーケストラ創設/市民まつりは小平駅前から開催を
山田大輔議員
(政和会)

小平ジュニアオーケストラ創設を。文化芸術の灯を絶やさずに

質問 ①コロナ禍における歌のない音楽の授業への見解は、
②市がリードして、小平ジュニアオーケストラを創設する意義や必要性についての見解は、
教育長 ①現時点では、感染リスクを低減するよう活動を工夫しながら、授業を進めることが望ましいと考えている。

市長 ②市内の全公立中学校に吹奏楽部があるなど、子どものときから吹奏楽活動を行う環境があるため創設の予定はない。今後、市と公益財団法人小平市文化振興財団で連携を図りな

から吹奏楽活動を支援していく。
市民まつりは小平駅前から開催を。商店会の灯を絶やさずに



用語の解説

※1 動議とは
主に会議の進行や手続について議員から出される提議で、議決を経るべきものこと。
※2 予算代替動議とは
市が提出した予算の議案に對して、撤回し修正してから再提出することを求める動議のこと。
※3 DXとは
デジタル・トランスフォーメーション(Digital Transformation)の略称で、ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でよりよい方向に変化させること。従来の情報化やICT利活用と異なり、ビジネスモデル自体を変革していくことを言う。
※4 CDOとは
最高デジタル責任者(Cheif Digital Officer)の略称で、組織のデジタル変革を統括する役割のこと。
※5 Society 5.0
時代とは
サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会と定義される新しい時代のこと。
※6 ESCO(エスコ)事業とは
省エネルギー改修にかかる全ての経費を光熱水費の削減分で賄い、新たな財政負担を必要としない事業のこと。
※7 感震ブレイカーとは
地震発生時に設定以上の揺れを感じた場合、電気を自動的に止める機器のこと。
※8 エネファームとは
家庭用燃料電池のこと。水素と酸素から電気をつくり、そのとき発生する熱を利用してお湯をつくることができる。
※9 グリーンインフラとは
自然環境が有する様々な機能を、社会における多様な課題の解決に活用しようとする考え方のこと。
※10 ヤングケアラーとは
高齢や身体障害等を理由に援助を必要とする家族等に対して、介護や日常生活上の世話などを行う18歳未満の人

議会図書室を一般公開しています

小平市議会では、議員だけでなく、市民の皆様にもご利用いただけるよう議会図書室を一般公開しています。
利用時間 午前8時30分から午後5時まで
(土曜日、日曜日、祝日、休日及び年末年始を除く)
利用方法 市役所7階の議会事務局にお越しください。
配架図書 市議会会議録、地方自治や地方議会に関する図書など(室内でのみ閲覧できます。貸出しはできません。)